

## BNYメロン・リアル・リターン・ファンドAコース(為替ヘッジあり)の 足下の運用状況と今後の運用方針について

BNYメロン・アセット・マネジメント・ジャパン株式会社

平素より、BNYメロン・リアル・リターン・ファンドをご愛顧賜り、厚く御礼申し上げます。

当資料では、BNYメロン・リアル・リターン・ファンドAコース(為替ヘッジあり)(以下、「当ファンド」とする場合があります)の足下の運用状況と、当ファンドの運用を担当するニュートン社の市場の見方、および、今後の運用方針についてご説明させていただきます。

### 2016年11月以降の運用状況と運用方針のまとめ

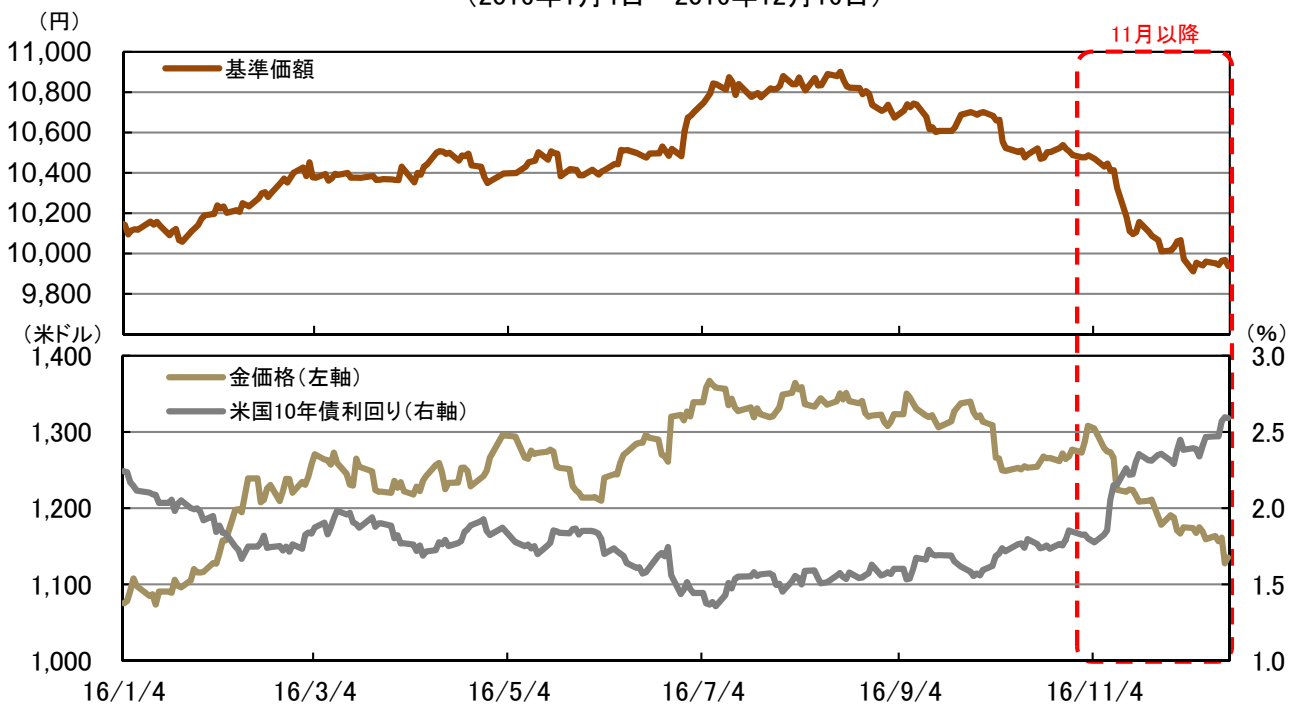
2016年11月8日から9日にかけて米国で実施された大統領選挙で大方の事前予想に反して共和党のドナルド・トランプ氏が勝利して以降、世界の株式、債券、為替市場は大きく変動しました。このような環境下、当ファンドの1万口当たり基準価額は、12月14日時点で9,964円と、10月31日時点の10,477円から約4.9%の下落となりました。

当ファンドが下落した要因としていくつかの理由が挙げられますが、主には以下の2つがマイナスに寄与しました。

- ① 米国金利が上昇した中での、米国債を中心とした国債の保有(10月末時点:29.2%)
- ② 金価格が下落した中での、商品・金関連株の保有(10月末時点:11.3%)

### 【年初来での当ファンドの基準価額、金価格、米国10年債利回りの推移】

(2016年1月4日～2016年12月16日)



※基準価額は信託報酬控除後のものです。

※当該実績は過去のものであり、将来の運用成果を約束するものではありません。

出所：ブルームバーグのデータを基に、BNYメロン・アセット・マネジメント・ジャパン株式会社が作成

当社では、グローバル経済の脆弱な状況には依然として大きな改善は見られておらず、投資環境に対する構造的な困難は、引き続き存在すると見ていることから、運用方針に大きな変更はありません\*。今後、世界経済が直面する困難が容易には解決されないことが明らかになってくれば、当ファンドのパフォーマンスは改善に向かうと予想しています。そしてこのような状況は、2017年初めの数か月のうちには、明らかになってくると見えています。

\* 米大統領選挙以降、金利が上昇しており、当ファンドではボラティリティ抑制のため、債券先物プットオプションの買いポジションを構築しました。

●当資料は、ファンドの運用状況に関する情報提供を目的にBNYメロン・アセット・マネジメント・ジャパン株式会社が作成したものです。●当資料に記載の運用実績に関するグラフ、図表、数値その他いかなる内容も過去のものであり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。●ファンドに生じた利益及び損失は、すべて受益者に帰属します。

【当ファンドの資産構成比率】	2016年 10月31日時点	2016年 11月30日時点
リスク相殺資産		
国債	29.2%	28.7%
キャッシュ等	7.4%	7.1%
金関連株	4.9%	4.2%
商品	6.4%	6.2%
インデックス連動債	1.9%	1.9%
変動金利債等	0.0%	0.0%
リターン追求資産		
株式(①)	43.0%	43.6%
社債	3.5%	3.7%
転換社債	0.0%	0.0%
インフラ関連(ファンド)	2.4%	2.4%
再生可能エネルギー関連(ファンド)	1.4%	1.7%
新興国債券	0.0%	0.5%
合計	100.0%	100.0%
株式先物/株価指数オプション等(②)*1	-27.9%	-29.9%
債券先物/債券先物オプション等*1	0.0%	-10.3%
株式実質比率(①+②)	15.1%	13.7%

※ 資産構成比率は、当ファンドの実質的な運用会社であるニュートンの判断による一定の資産区分基準に基づいた参考値です。なお、資産区分の基準は今後変更となる可能性があります。

※ 資産構成比率は、投資対象ファンドのBNYメロン・グローバル・リアル・リターン・ファンド(米ドル建て)の純資産総額を100%として計算した値です。

※ 資産構成比率の金関連株には、貴金属関連株も含まれます。

※ 資産構成比率の国債には、州債等の公債も含まれます。

\*1 資産構成比率の株式先物/株価指数オプション等及び、債券先物/債券先物オプション等の値は、オプション等の価格変動額と対象とする原資産の価格変動額の比率を基に原資産に換算した金額の比率になります。(主要対象ファンドの実質的な運用会社であるニュートン社が一定の基準で算出)

## 今後の見通しおよび運用方針について(詳細)

グローバル経済の脆弱な状況には依然として大きな改善は見られておらず、債務の拡大、低成長、デフレーション、地政学的リスクなどの全てが、グローバル経済の成長や、広範な投資環境に対する構造的な困難として、引き続き存在するというリアルリターンチームの見方は、ほぼ変わっていません。トランプ氏の米大統領選勝利によって、これらのグローバルなファンダメンタルズや投資環境の構造的な困難という状況に変化があるわけではありません。市場は、トランプ氏の政策に前向きに反応しましたが、問題のある政策も多くあり、保守的な共和党議会がどれくらいトランプ氏の政策に同意するかが定かではありません。一方では、すぐに着工可能なインフラプロジェクトがあまりないことから、政策実行がなかなか進められない可能性が高いと考えられます。

金融政策による景気刺激から財政アプローチへの移行があると見ていますが、強い影響力のある長期的な構造的トレンド(過剰債務、量的緩和による歪みと誤った資本配分、高齢化、中国経済の減速、技術な進歩によるデフレ圧力)は深刻なものであり、トランプ氏の政策によって、変えることは困難であると見ています。

市場は、トランプ氏の一部政策に過剰反応し、それを織り込む動きをしましたが、実際には、財政刺激が行われるには時間がかかり、その効果(乗数効果)に関しても疑わしいと見ています。

英国におけるブレクジットの国民投票に続き、米国大統領選ではトランプ氏が勝利し、イタリアの憲法改正の是非を問う国民投票では否決がなされました。これは、有権者が不平や異なるアプローチを願望している表明であり、グローバルなトレンドを反映していると考えています。米国の、より偏狭な、国内重視の政策は、グローバル化に対する更なる挑戦になると見ています。

グローバル経済は引き続き脆弱な状況にあると見ていることから、先日、米国で利上げが行われたものの、2017年中に大幅な金利上昇があるとは見ていません。2015年の終わりに見られたように、米国の金利上昇は米ドル高につながり、多くの新興国の状況も悪化、2017年にインフレがすすむ可能性は低いと見ています。

2016年前半は堅調なパフォーマンスとなったものの、米国大統領選挙に影響されたこの2か月の市場の動きは、短期的なポートフォリオのパフォーマンスにマイナスの影響を及ぼしました。しかしながら、トランプ氏と議会とのアプローチの違いは既に明らかであり、トランプ氏の発言によって、世界経済が直面する困難が容易には解決されないことが明らかになってくれば、パフォーマンスは改善に向かうと予想しています。そしてこのような状況は、2017年初めの数か月のうちには、明らかになってくると見ています。

米大統領選挙でのトランプ氏勝利後、財政拡大・減税・金融規制緩和を軸とした成長拡大期待から、金利が上昇している中、ファンドのボラティリティ抑制のため、債券先物プットオプションの買いポジションを構築しました。しかしながら、前述の様に、長期的な見通しに変化はありません。あくまでも、短期的、戦術的な対応です。

●当資料は、ファンドの運用状況に関する情報提供を目的にBNYメロン・アセット・マネジメント・ジャパン株式会社が作成したものです。●当資料に記載の運用実績に関するグラフ、図表、数値その他いかなる内容も過去のものであり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。●ファンドに生じた利益及び損失は、すべて受益者に帰属します。

### <ファンドのリスク>

当ファンドは、国内外の投資信託証券を主要投資対象としていますので、投資する投資信託証券の基準価額の変動により、当ファンドの基準価額は大きく変動することがあります。

**当ファンドは、元本が保証されているものではなく、基準価額の下落により解約・償還金額が投資元本を下回り、損失を被る可能性があります。運用により信託財産に生じた利益または損失は、すべて受益者に帰属します。当ファンドは、預貯金とは異なります。**

預金保険または保険契約者保護機構の対象ではありません。また、銀行など登録金融機関で購入された場合、投資者保護基金の支払いの対象とはなりません。

当ファンドの基準価額の変動要因としては、主に「価格変動リスク」、「金利変動リスク」、「信用リスク」、「商品市況変動リスク」、などがあります。

※詳しくは投資信託説明書(交付目論見書)の「投資リスク」をご覧ください。

### <お客様にご負担いただく費用>

お客様には以下の費用をご負担いただきます。

#### ■直接ご負担いただく費用

##### ○購入時手数料:

3.24%(税抜3.0%)を上限として、販売会社が定める申込手数料率を購入申込日の翌営業日の基準価額に乗じて得た額となります。

○信託財産留保額:換金申込受付日の翌営業日の基準価額に0.3%を乗じて得た額とします。

#### ■間接的にご負担いただく費用

##### ○運用管理費用(信託報酬)

毎日、信託財産の純資産総額に年率1.377%(税抜 1.275%)を乗じて得た額とします。

運用管理費用(信託報酬)は、毎計算期間の最初の6か月の終了日および毎計算期末または信託終了のとき、信託財産中から支払われます。

##### ○投資対象とする投資信託証券の管理報酬等

・BNYメロン・グローバル・リアル・リターン・ファンド(USD Xクラス)

・・・純資産総額に対して年率0.45%程度

・マネーポートフォリオ・ファンド(適格機関投資家専用)

・・・純資産総額に対して年率0.0324%(税抜0.03%)~0.162%(税抜0.15%)。

##### ○実質的な負担

年率1.827%程度(概算)

※実際の実質的な負担は、投資信託証券の組入状況等に応じて変動します。

##### ○その他の費用

監査法人等に支払うファンドの監査にかかる費用、目論見書等の作成、印刷および交付費用ならびに公告費用等、その他の管理、運営にかかる費用、組入有価証券の売買の際に発生する売買委託手数料、先物・オプション取引等に要する費用、外貨建資産の保管費用等が、信託財産より支払われます。

(注)この他に、投資対象とする投資信託証券においても、上記費用に類する費用がかかります。

◆その他費用・手数料については、資産規模および運用状況等により変動しますので、料率、上限額等を表示することができません。

※詳しくは投資信託説明書(交付目論見書)の「手続・手数料等」をご覧ください。

#### ● 設定・運用は

BNYメロン・アセット・マネジメント・ジャパン株式会社

金融商品取引業者:関東財務局長(金商)第406号

[加入協会]一般社団法人 投資信託協会 / 一般社団法人 日本投資顧問業協会

/ 一般社団法人 第二種金融商品取引業協会